江北まちづくり説明会における学校統合に関する質問及び回答

１１月２２日に開催された江北まちづくり説明会において、江北小学校と高野小学校の統合に関する質問が多数ありました。会場で質問にはお答えしておりますが、改めてホームページで回答いたします。

統合校の場所について

Ｑ１　統合校の予定地が病院に隣接している。交通量や救急車のサイレンなどの音などが心配であり、不安がある。

病院ができることにより人や車の通行量が増えると想定しているので、教育委員会としては登下校時の児童の安全対策に最大限の措置を講ずる必要があると考えています。

施設面では、病院も学校も敷地内に緑道（歩道）を整備し、安全性の向上を図ります。また、新校舎開設の前年に、ＰＴＡ、学校、警察、道路管理者及び教育委員会等による通学路合同点検を行い、危険箇所に応じて学童擁護員の配置、横断歩道の新設や車両の速度規制等の必要な対応を行っていきます。

両施設から出る音の問題に関しては、それぞれの設計の中で、お互い運営に支障が出ないように進めていきます。校舎や運動場の配置を含めた設計についても、両校の地域、ＰＴＡ及び学校の代表者で構成する統合地域協議会において協議しながら、できる限りの対策を講じていきます。

なお、江北小学校においては鳩ヶ谷街道と江北バス通りを、高野小学校においては尾久橋通りとおしべ通りをまたぐ通学区域となっており、これまでも交通安全対策に力を入れてきました。こうした両校の伝統が統合後も引き継がれるよう、教育委員会としても連携を図りながら進めていきます。

Ｑ２　どこに統合校が移るのか二転三転していた。ここに決定した理由が知りたい。

統合校の位置については、両校のほかに旧上沼田中学校、都住建替創出用地の４箇所で比較、再検討を行いました。敷地面積の広さ、通学区域の中心に近いこと、通学路変更の回数が１回で済むこと、地元から要望をいただいた場所であることなどを総合的に比較・検討した結果、この都住建替創出用地が適地であると判断しました。

統合校の敷地の広さについて

Ｑ３　２つの学校が統合される予定地は今の高野小学校よりも狭くなるため、子どもの教育環境が心配である。

高野小学校の敷地面積より少し狭くなりますが、Ｑ２にも書いたとおり統合後の通学区域の中心に近くなりますので、通学等にかかる児童の負担軽減になります。

また、学校生活の多くの時間を過ごすことになる校舎部分の充実を図り、全体として教育環境が向上するように設計を進めていきます。校舎部分を充実することによって、万一、避難所として活用する際の環境も向上するものと考えています。

統合校の教育方針

Ｑ４　教育委員会がきちっと二つの学校の統廃合について、どのような方針を持ってどうしようとしているのかというのを教えてほしい。

学校の統合の第一の目的は、適正規模化と施設更新を図ることにより、子どもたちの教育環境の向上を図ることです。

統合により安定した学校規模を維持することにより、集団生活の中で認め合い、助け合い、競い合いながら成長できる環境を整えることで、学力向上と人間力の育成を図っていきます。また、現代の学びにあわせた校舎を設置することで、子どもたちの学校生活をより充実させることができると考えています。

地元説明をしてきた中で、保護者の皆さんから学童保育室の設置に関するご要望をいただきました。現在は両校の児童とも学校外の学童保育室を利用している状況ですので、新校舎内に設置することで、子どもの安全と保護者の安心を高められるように検討を進めていきます。

その他

Ｑ５　小台のほうから日舎ライナーに乗って通ってくる子どもたちもおり、高野小学校自体も定員がいっぱいである。江北小学校も児童数が増えていくはずである。こうした現状で統合する必要はあるのか？

足立区全体では、総人口は増加していますが、０歳から１４際までの年少人口は、平成２５年以降５年連続で減少しています。５年間で２，２０４人、昨

年１年間で８０４人の減少です。
　両校の通学区域内を見ると、現在、平成２７年に実施した人口推計の高位推計とほぼ同程度で推移しており、統合以降は１８～２０学級程度になると見込んでいます。検証した結果、仮に１、２年生と同様に全学年が３５人学級になったうえで、通学区域に居住する全てのお子さんが入学したとしても適正規模に収まることを確認しています。
　平成２７年に上沼田小学校と鹿浜小学校が統合して開校した鹿浜五色桜小学校の児童や保護者等にアンケートしたところ、多くの子どもたちが、統合したことにより友だちがたくさんできたり、人数が増え、皆と協力できたことで運動会や学芸会などの学校行事が楽しくなったと答えています。教育委員会としては、より多くの子どもたちがこうした体験ができるよう、教育環境の整備に努めていきます。

Ｑ６　江北小学校という歴史ある学校を壊さないでほしい

　江北小学校の校舎は昭和４１年に建築し、５０年以上経過しています。昭和３７年に建築した高野小学校と同様に既存校舎を維持していくことは、安全性や維持管理上からも問題があります。学校跡地については、区民に有益な施設を整備していく予定です。
　なお、統合校の名称や江北小学校の歴史、文化の継承については、両校の地域、ＰＴＡ及び学校の代表者で構成する統合地域協議会で協議していきます。

「江北小学校と高野小学校の適正規模・適正配置実施計画（案）について」
http://www.city.adachi.tokyo.jp/g-shien/251130kouhoku_area_syou.html

「学校の統合についてのアンケート調査結果」
http://www.city.adachi.tokyo.jp/g-shien/201712_tekihai_anketo.html